

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	成人健康増進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支え合いのまちづくり
基本施策	01	生涯健康づくりの推進
施 策	01	健康づくり等の充実
大事業名	040102	成人健康増進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	各種健（検）診を実施し、疾病予防、健康づくりに取り組める環境づくりを進めます。						
成果指標	各種健（検）診の受診者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	8,200	8,200	8,200
		実績値		8,169	4,740		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	50,395千円	予算	58,856千円	見込	59,280千円
	うち特定財源	決算	5,830千円	予算	6,739千円	見込	6,786千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	基本健診をはじめ、各種がん検診（胃、大腸、子宮、乳、肺）、結核検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診等を実施し、延べ4,740人の受診者であった。なお、平成23年度より子宮・乳がん検診の実施時期が隔年（2年に1回）となっている。がん検診推進事業として大腸・子宮・乳がんの検診については一定年齢による対象者にクーポンを送付し、受診の推進を行った。（受診者460人）また、成人栄養改善事業（1講座計17回）も実施した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	各種健（検）診を実施し、疾病予防、健康づくり、栄養改善に取り組める環境づくりを進めることができた。						
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	健康保険課
事務事業名	国民健康保険運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支え合いのまちづくり
基本施策	01	生涯健康づくりの推進
施 策	01	健康づくり等の充実
大事業名	010101 010201	国民健康保険事務事業 国民健康保険税賦課徴収事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	国民健康保険法に基づいた国民健康保険制度の円滑かつ適正な運営を目的とする。						
成果指標	国民健康保険税の収納率(現年度分)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	96.6	96.6	96.6
		実績値		96.6	96.8		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	10,091千円	予算	11,844千円	見込	11,844千円
	うち特定財源	決算	184千円	予算	347千円	見込	347千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	国民健康保険税未収分については、各期納期期限後20日以内に督促状(毎月約300通)発付、催告書(829通)送付を行うとともに電話による催告(71件)、臨戸(67件)を行った。また、納付相談は、年8回で吉川支所と役場で開催するなど収納対策の取り組みを行った。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	収納対策の取り組みにより、平成23年度収納率は、現年分で96.86%、対前年度0.48ポイント上昇し、国民健康保険財政は黒字化された。						
今年度の活動計画	督促状や催告書の送付を行うとともに電話による催告、臨戸を実施し、納税者との納付相談に重点を置き、納付相談の件数を増加できるように努力していく。また、国民健康保険のしくみについて、被保険者に理解していただけるように周知啓発を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	保健衛生推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支え合いのまちづくり
基本施策	01	生涯健康づくりの推進
施 策	02	医療体制の整備
大事業名	040101	保健衛生推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保健衛生関連団体の取り組みを支援します。また、豊能広域こども急病センター及び広域協定での豊能地域救急医療対策の運営・充実を図ります。						
成果指標	こども急病センターの受診者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	500	500	500
		実績値		498	398		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,445千円	予算	2,413千円	見込	2,709千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	保健衛生関連団体（豊能町食生活推進員協議会）への補助金の交付や、豊能広域こども急病センター及び豊能地域救急医療対策事業への負担金を交付した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	平成23年11月に行われた「とよのまつり」にて健康展を豊能町食生活推進員協議会と協働で保健センターにて実施した。豊能広域こども急病センター（年間受診者数398人）及び広域協定での豊能地域救急医療対策の運営・充実を図ることが出来た。						
今年度の活動計画	豊能町食生活推進員協議会については引き続き協働での取り組みを実施するとともに、減少しつつあるヘルスメイトの養成（増員）について協議会とともに考える。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	介護予防事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	040101	介護予防事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	通所又は訪問による介護予防事業や、介護予防普及啓発事業を実施することにより、高齢者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、いつまでも地域において自立した日常生活をおくることができるよう支援する。						
成果指標	介護予防講座等の参加者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	3,065	3,197	3,315
		実績値		2,802	2,363		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,143千円	予算	11,164千円	見込	10,101千円
	うち特定財源	決算	375千円	予算	712千円	見込	712千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	1次予防事業としては、栄養講座、新発見講座、はつらつヘルス教室、元気あっぷ講座を実施した。また、2次予防事業としては、対象者把握事業により把握した低下機能ごとに事業を実施した。（口腔器については歯科講演会を実施。運動器についてはゆるやか筋力アップ教室を通年で実施。）その他、集団健診受診者で糖尿病が疑われる65歳以上の方を対象に糖尿病予防教室を実施し、認知症予防の自主グループに関してはプログラムの提供などの支援を実施した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	1次予防事業の実施により、高齢者が要介護・支援状態にならないよう活動され、介護予防につながっていると考え。また、2次予防事業に（継続して）参加されることにより状態の維持又は改善につながっていると考え。						
今年度の活動計画	1次予防事業として、栄養講座、新発見講座、はつらつヘルス教室を実施する。また、2次予防事業は、対象者をより早く把握することにより、多くの方が事業に参加できるよう、基本チェックリストの実施時期を集団健診の時期に合わせ6月とする。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	介護保険家族介護支援特別事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	030102	介護保険家族介護支援特別事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	要介護認定を受けているものの、介護サービスを受けていない者の家族の負担を軽減するために一定の助成を行う。						
成果指標	家族介護支援の助成額		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	千円	-	100	100	100
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	0千円	予算	100千円	見込	100千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	該当者がいないため、助成はしていない。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	該当者がなく成果は上がっていない。						
今年度の活動計画	引き続き、高齢者を介護している家族の身体的・精神的負担の軽減を図る観点から、本事業の広報周知に努めるとともに、該当者があれば、即座に対応していく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	高齢者自立活動支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	030102	高齢者自立活動支援事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	外出が困難な高齢者に対し、閉じこもり予防、健康づくり、生きがいづくりを推進する観点から外出支援事業を実施することにより、利用者の生活圏の拡大と自立した生活への支援を図る。						
成果指標	「おでかけくん」の利用回数（延べ回数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値		-	2,300	2,400	2,500
		実績値	回	2,176	2,917		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,685千円	予算	6,356千円	見込	6,000千円
	うち特定財源	決算	1,975千円	予算	2,226千円	見込	2,332千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	当事業の継続には、自動車運送事業者等を委員とする「地域公共交通会議」の承認を得る必要があるが、昨年9月開催の同会議において当事業の必要性が認められ、向こう3年間（平成26年9月末日まで）の事業継続が承認された。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	当事業は、いまや単独での外出が困難な方にとっては無くてはならない移動手段の一つとなっており、前年度に比べ利用者数・利用回数とも大幅に増加した。						
今年度の活動計画	当事業の事務委託業務及び運行協力業務については本年6月より事業者が変更となったが、事業者変更による利用者への影響を最小限にとどめるため利用者及び関係機関に周知するとともに、事業者には利用回数増となるよう努力を促す。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	老人福祉事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	030102	老人福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老人クラブ連合会への活動支援を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図る。						
成果指標	老人クラブの会員数（全14クラブ）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,340	1,355	1,370
		実績値		1,311	1,368		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,119千円	予算	2,652千円	見込	2,152千円
	うち特定財源	決算	606千円	予算	939千円	見込	606千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	大阪府内の市町村老人クラブ連合会において軒並み会員数の減少傾向が続く中で、豊能町老人クラブ連合会については健康づくり（ウォーキング）、同好会活動、およびロコミによる参加の呼びかけなどが実を結び、着実に会員数が増加している。（平成24年4月時点で1,406人）						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	町老人クラブ連合会においては、ウォーキング実施による健康づくり等の活動が認められ、昨年11月の全国老人クラブ大会において全国表彰を受けた。また、各単位クラブのうち、3クラブ（余野、東ときわ台、光風台）が新規会員の加入を促進した功績が認められ、府老人クラブ連合会長表彰を受けた。						
今年度の活動計画	昭和37年に設立された「豊能町老人クラブ連合会」が50周年を迎えることから、前年度の活動に加え、町老人クラブ連合会が実施する50周年事業（記念誌作成等）を支援する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	包括的支援等事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	040201	包括的支援等事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	総合相談支援事業、権利擁護事業、介護予防ケアマネジメント事業及び包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を実施することにより、高齢者の福祉の向上を図るとともに、被保険者が要介護状態又は要支援状態となった場合においても、いつまでも地域において自立した日常生活をおくることができるよう支援する。						
成果指標	地域包括支援センターでの総合相談件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	300	350	400
		実績値		220	244		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	7,335千円	予算	9,852千円	見込	10,824千円
	うち特定財源	決算	6,430千円	予算	6,872千円	見込	7,456千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	認知症支援を中心としたまちづくりを考え、社会福祉協議会と協力体制を作るとともに、地区活動を行う小グループの住民組織を形成するなど包括支援センターを含む中核チームを形成した。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	中核チームのほとんどが地域住民であることから、常に豊能町内の各地域を意識した活動を行うことができるようになった。また、平成22年度は2回だけであった認知症サポーター養成研修についても23年度は4回（98人）の養成を行った。特に中核チームの住民が働きかけたことにより、吉川小学校の教職員に対し認知症サポーター養成研修を行うことができたことは意義が大きい。こうした認知症サポーター養成を行うことにより、地域の団体などとのネットワークが広がりつつある。						
今年度の活動計画	認知症支援を考える上では認知症サポーター養成が基本と考え、その数を増やしていくために養成研修の講師役となる認知症キャラバンメイトの養成を行い、その後新しいキャラバンメイトが地域で認知症サポーター養成研修を自信を持って行えるように継続した支援を行う。また机上での学びだけではなく、実際に地域に出て具体的な見守り声かけ模擬訓練を町内で行い、訓練を通しての地域住民への啓発、参加者の体験としての学びを目指す。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	障害者福祉事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	02	障害者（児）福祉の充実
大事業名	030101	障害者福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	障害のある人等の生活を地域全体で支えるシステムの実現を目指す。						
成果指標	自立支援給付の利用者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	920	930	940
		実績値		896	1,129		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	128,298千円	予算	167,019千円	見込	167,019千円
	うち特定財源	決算	99,509千円	予算	127,393千円	見込	127,393千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	居宅介護、重度訪問介護、同行援護といった訪問によるサービスや生活介護、自立訓練就労継続支援といった日中活動によるサービス、また補装具や日常生活用具等の提供などを実施した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	障害のある人（児）が身近な地域で、その人に応じた自立した生活を送ることができるよう、訪問系・日中活動系サービスや補装具などの各種障害福祉サービス等を適正に提供したことにより、障害のある方の社会参加を促進することができた。						
今年度の活動計画	引き続き、障害のある人（児）に対する訪問系・日中活動系サービスや補装具などの障害福祉サービスの内容拡充と活用を図ることにより、障害のある方の社会参加を支援していく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	障害者生活支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	02	障害者（児）福祉の充実
大事業名	030101	障害者福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	障害者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供等により自立した日常生活が送れるよう支援を行う。						
成果指標	障害者相談の件数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	90	100	110
		実績値		72	139		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,995千円	予算	3,032千円	見込	3,032千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	精神障害者（児）の方は、地域活動支援センターでの来所相談や電話相談等で、また、身体障害者（児）と知的障害者（児）の方は、豊悠プラザを会場とした出張相談や電話相談等を実施した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	障害者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び権利擁護のために必要な援助を行うことにより、本人や家族が安心して日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援できた。						
今年度の活動計画	引き続き、障害者本人や家族が安心して日常生活等を営むことができるよう、相談業務を継続拡充させることで生活支援の充実を図っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	たんぽぽの家運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	02	障害者（児）福祉の充実
大事業名	030101	障害者福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	小規模通所授産施設「たんぽぽの家」について、指定管理者制度を活用し適正な運営を行う。						
成果指標	登録者の人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	21	22	23
		実績値		19	19		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	31,546千円	予算	16,000千円	見込	16,000千円
	うち特定財源	決算	3,937千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	就労支援活動（革製品、タオル、アルミ缶回収、園芸作業、豊悠喫茶コーナー）や社会見学、プール研修、軽スポーツ体験、生活訓練といった活動体験を行った。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	就労支援活動については、延べ86名の参加があり、250万円以上の売り上げを得て、従事者に対する工賃を渡すことができた。また、生活介護の面では、自立した日常生活が営めるよう促進することができた。						
今年度の活動計画	引き続き、自立支援活動の拠点とした運営管理を専門機関に委託することで、障害者に就労の機会を提供するとともに、日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援していく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	在宅福祉事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	03	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり
施 策	01	地域福祉の推進
大事業名	030102	在宅福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	見守り事業や緊急通報装置貸与事業などを継続的に実施し、在宅高齢者の精神的な負担の軽減を図る。						
成果指標	緊急通報装置貸与事業の利用者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	65	70	75
		実績値		59	70		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	787千円	予算	1,059千円	見込	1,050千円
	うち特定財源	決算	248千円	予算	321千円	見込	320千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	在宅高齢者に対して、身体的・精神的な負担を図ることを目的として、見守り事業・寝たきり老人紙おむつ事業・緊急通報装置事業を実施した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	見守り事業・緊急通報装置貸与事業は、民生委員・地区福祉委員等との地域住民の見守りや協力が重要であるが、民生委員・地区福祉委員等と連携をはかり、在宅高齢者が安心して住みなれた地域で暮らしていけるように事業を効果的に実施することができた。						
今年度の活動計画	今後、豊能町はますます高齢者が増加していき、より一層民生委員・地区福祉委員等の地域住民の見守りや協力が必要になってくると思われるので、今まで以上に連携をはかり、在宅高齢者が安心して住みなれた地域で、よりよく生活していくための事業を継続して実施していく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	生活福祉推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	03	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり
施 策	01	地域福祉の推進
大事業名	030101	生活福祉推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	福祉関係機関（社会福祉協議会、民生委員協議会等）と連携し、生活弱者の福祉の向上を図ります。						
成果指標	登録ボランティアの人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	760	770	780
		実績値		758	759		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	27,445千円	予算	28,969千円	見込	29,000千円
	うち特定財源	決算	15,988千円	予算	12,697千円	見込	12,697千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会とは三者連絡会議を随時行い、高齢者等の見守りについて連携を密にした。また、社会福祉協議会にコミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）を1名配置するほか、町にも非常勤のケースワーカーを1名配置した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	災害時要援護者登録台帳の更新事務を実施し、見守りを強化したことにより、災害時要援護者登録者数は1,236名→1,625名に増加した。 また、今年度からケースワーカーを配置し、生活困窮者等の様々な相談にも専門的に対応することができ、地域福祉の向上に寄与した。(町への相談の件数：23年度 183件)						
今年度の活動計画	民生委員や福祉委員等との連携を今一層強化し、生活上のあらゆる相談を抱える住民のニーズに対応すべく、極め細やかな地域福祉セーフティーネットの構築を図る。						